

横浜市市民文化会館関内ホール 令和3年度業務計画及び収支予算

(株)tvkコミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)横浜メディアアド・
(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51㎡
開館日	1986年(昭和61年)9月

2 指定管理者

法人名	(株)tvkコミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)横浜メディアアド・(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体 代表(株)tvkコミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	関 佳史
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【業務取組の基本的な考え方】

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、関内ホールの特性や馬車道エリアという立地を活かした「市民の文化芸術活動と発表の場の提供」「質の高い鑑賞機会の提供」「次世代育成への積極的な取組」「地域と連携した賑わい創出」など、今期の提案書に示したビジョン(中期的イメージ)を実現するため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の7つの方針で関内ホールの管理運営に取り組みます。

1. 専門性を発揮して、市民に身近な文化芸術活動の場を提供
2. 専門企業・団体とのネットワークを活かし、特徴ある鑑賞機会を提供
3. 子ども達が楽しめる鑑賞機会と積極的な若手アーティストの支援で次世代を育成
4. 街中の便利なホールとして、集会・講演会利用に対応
5. 魅力あるイベントと幅広い広報活動で、馬車道をはじめ地域の賑わい向上に貢献
6. 経験とノウハウに基づく、安心安全の徹底
7. 行政代行者としてのコンプライアンス(法令遵守)と公平・公正な利用の確保

(2) 令和3年度の業務の方針及び達成目標

【全体業務について】

コロナ感染症拡大の影響により管理期間の延長となった今年度は、ポストコロナを見据え、施設の管理運営や事業実施について様々な取り組みを実験的に取り入れるなど、新しい生活様式に対応した施設運営の在り方を再確認し次期運営期間に活かせるよう取り組んでいきます。具体的には、各種申請業務など接触を伴う作業の電子化や、公演実施時の感染対策をまとめた実践的な利用者マニュアルの整備、施設内部の経済的かつ効率的な除菌・消毒対策、感染症を前提とした新しい視点からの文化事業企画など、コロナ禍において実践してきたハード、ソフト両面の取り組みについて一層の適切化を図り、ルーチン化を進めます。

また、今後更に需要が高まると思われる、大・小ホールの「リアル動画配信システム」について、コロナ禍における利用者の視点に立った活用方法の提案を再検討します。

【事業について】

コロナ感染症拡大の影響により、事業の実施については様々な制限が課せられている状況が続いています。鑑賞事業については現状のガイドラインにおいて定員100%開催が可能となりましたが、来場者への配慮から50%定員での実施を余儀なくされるケースが多く、チケット収入で出演料が相殺できないなど、チケットが完売でありながら赤字事業となるケースが多く発生しています。

このような状況下、今年度は音楽、演劇、落語など、主催・共催・協力事業として22公演の鑑賞事業の実施を予定していますが、主催事業については事業収支を考慮し、ガイドラインに沿った対策を徹底したうえで、夏以降を目途に定員100%での開催に移行する方向で検討を進めております。

ホールの人気事業である「合唱クラシックコンサート」については、内容の一部変更や飛沫防止の対策を講じるなど可能な範囲での実施とすることや、地元商店街との連携による「あいすくりーむ発祥記念イベント」「アートフェスタ」等の定例事業においても、商店街と十分な対策を協議したうえで実施する方向で検討を進めます。

その他、地域連携の一環として実施している「チケ得！企画」（関内ホール公演チケット半券でホール周辺の飲食・物販店で優待サービスを受けられる企画）や、デジタルアーカイブ等、地域のにぎわい創出を目的とした事業については、支障の無い範囲で引き続き取り組んでいきます。

【施設維持管理について】

前年度までに蓄積した「大規模改修工事で新しくなった内装類（大ホール客席・床材・壁面等）の維持管理方法及び更新された設備機器類の運転ノウハウ」を基にした施設管理業務を実施することで、常に安全で快適な環境を提供するように努めていきます。

また新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、アルコール消毒剤での拭掃・高率の外気導入換気を状況に応じて実施します。

なお設備・警備・清掃の施設管理業務全般で蓄積した維持管理方法及び運転ノウハウは、これに固執せず、例えば効率の良い設備機器類の運転のために施工会社と相談して更新された機器類であっても部品を交換するなど、日々の施設管理業務を通じて改定してまいります。

質の高い施設維持管理業務を実施するだけでなく、更なる省エネ及びリサイクル推進にも積極的に取り組んでいきます。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業

ア 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①専門企業・団体とのネットワークを活かし、市民に喜ばれる鑑賞事業を展開</p>	<p>コーディネートを活かした幅広いジャンルの事業を、専門企業とのネットワークを活かして定期的に行います。音楽、ダンス、演劇のそれぞれにおいて、多彩なジャンルの事業を実施することで、新たな聴衆の拡大や、それぞれの感性に応じた文化芸術へのきっかけづくりとなるような、質の高い鑑賞機会を提供します。</p> <p>□幅広い層へ向けた良質なコンサート系事業：23公演</p> <p>□ダンス公演系事業：2公演</p> <p>□演劇・ミュージカル・バラエティ系事業：11公演</p> <p>□落語・漫談等、伝統芸能系事業：7公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>②横浜芸術アクション事業など、公的な文化芸術事業にも積極的に協力</p>	<p>横浜市をはじめ中区などが主催する市民参画型のシンボリックな文化芸術イベントに、舞台設営をはじめ、応募者の選定やテレビ、スポット放映、動画のアーカイブ化など、自分達の専門性を活かし、多面的に協力します。</p> <p>□公的文化事業への協力：4事業</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>③地域のブランド力を高めるシンボリックな事業を、地域と協働で開催</p>	<p>地域の団体と築いてきたネットワークを活かし、地域とともに成長するホールとして、地域のブランド力を高めるシンボリックな事業を実施します。</p> <p>□地域連携事業：7公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>

イ 次世代育成の取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①子どもたちの成長度合いに合わせ、文化芸術と触れる多彩な機会を提供</p>	<p>子どもたちの成長度合いに合わせた文化芸術との出会いを提供するため、参加・鑑賞の仕方やテーマが異なる、多彩な機会を提供します。</p> <p>□次世代育成事業：1事業</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>②新進アーティストを支援する、発表の機会の提供</p>	<p>発表の機会を継続的に提供することで、多くの次世代が文化芸術に取り組み、活躍の輪が相乗効果を生み出すような次世代育成</p>

<p>③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力</p>	<p>を行います。</p> <p>□新進アーティスト支援事業：3事業 馬車道ショートパフォーマンスライブ：1事業（5回） 若手演奏家によるコンサート：1事業 新人ジャズ演奏家のコンクール：1事業</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p> <p>市内全域の小中学校と連携を深め、子どもたちが芸術文化と触れ合う機会の提供に貢献します。</p> <p>□横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に協力し、小学校にコーディネーターを派遣：2校</p>
--	---

ウ 創作活動のための機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>① 市民が気軽に参加できるコンサートの開催</p>	<p>市民が楽しく気軽に参加できる機会を、質の高いコンサートやイベントを実現し、ステージと客席が一体となる感動を提供します。</p> <p>□参加型コンサート事業：3事業</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>

エ 情報提供及び広報

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動</p> <p>②さまざまな側面からの効果的な情報提供</p> <p>(1)映像とICTを活用した独自性のある情報提供</p> <p>(2)市民と連携した「文化アンバサダー制度」による情報発信</p>	<p>「催物案内」や、ホームページでの広報を強化し、リニューアルした施設の存在感を高め、更なるイメージアップを図り、テレビメディアの活用など共同事業体の専門性を活かした情報発信を実施します。</p> <p>□「催物案内」2つ折りA4仕上がり（全4ページ）</p> <p>□tvk昼の情報番組で放映：不定期年4回</p> <p>□スポットCMを制作し、tvkで放映：主催事業5本</p> <p>□月刊「催物案内」の制作及び配布：毎月市内280か所（5,500部）</p> <p>■デジタルサイネージを活用した、公演情報やインフォメーションを実施します。</p> <p>■事業広報に各種新聞媒体、フリーペーパー、地域情報誌を活用する。</p> <p>□関内ホールでの公演や、発表会を収録、配信：新規4本 デジタルアーカイブ「関内ホールビデオフォーラム」</p>

(3) 撮影場所の提供による情報発信	<p>■ 広報としてホームページ、Twitter、Facebook などの IT ツールを活用する。</p> <p>■ 「関内ホール市民モニター」による、主催事業についての意見や感想の配信を、ホームページや Facebook を通じて行う。</p> <p>■ ドラマやコマーシャル、映画撮影などの利用の際、「協力/関内ホール」のテロップを入れることを条件とし積極的に誘致を行う。</p>
--------------------	---

オ 地域の賑わいへの貢献

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①地元・馬車道地域のニーズに応える賑わい創出への取組	<p>■ 馬車道商店街が実施するイベントのチラシ制作・配架、ウェブサイトでの情報発信に協力する。</p> <p>■ 来場者が見込める主催事業について、開演時間を午後（早い時間帯）に設定し、夕食需要や買い物需要を喚起する。</p> <p>■ 従来とは異なる層の来街者創出のため、若者やファミリーを対象とした事業の充実に引き続き取組む。</p>
②地元事業への積極的な貢献	<p>■ 馬車道商店街などが実施する定例行事やお祭りなどに、企画・広報専門性などを活かした協力を行う。</p> <p>※対象地元事業は別紙のとおり</p>

カ 文化事業実施にあたっての留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①ソーシャルインクルージョンに配慮した取組	<p>□ 障がい者招待枠を設定：「陽だまりコンサート3公演」</p> <p>■ 障がい者入場割引を設けた公演事業を実施する。</p> <p>■ 来場する障がい者の方用に駐車場を提供する。</p> <p>■ 来場者へ車椅子の貸し出しを行う。</p>

(2) 施設運営

ア 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①公の施設としての、公平で公正な貸出業務の実施	<p>■ 市民利用施設予約システムでの抽選と空き施設申込みにより、公平で公正な貸出し業務を実施する。</p>

②新規利用者の増加と利用率の向上を図る、貸出サービスの創意工夫

(1) リピーターのニーズに応え、利用率の向上を図る貸出サービス・割引優遇制度の実施

(2) 市民の文化振興を図り、新規利用者を開拓するための貸出サービス・割引優遇制度の実施

③利用率の目標（運営期間5か年平均）

大ホール：94.8%

小ホール：93.0%

リハーサル室：55.0%

④専門性を活かした、公演等への積的な助言・サポートの実施

(1) ステージコンシェルジュによる、利便性の高いワンストップサービスの提供

(2) 舞台技術者による専門的なアドバイスとサポートの実施

■リハーサル室については個人登録カードでも利用可能とする。

■利用1か月前を切った大・小ホールの空きコマについて、「直前申請割引（遅割り）」を実施する。

■大・小ホールの利用希望日90日前を切った練習利用に限り利用料金を50%割引とする「得割90日前プラン」を実施する。

■リハーサル室スタンプカード会員サービスを実施する。

■大・小ホール、リハーサル室全室を終日利用する場合、リハーサル室4部屋分の料金を割引する「全館利用割引」を実施する。

■設営やリハーサルに使用した時間帯について割引を適用する「リハーサル区分割引」を実施する。

■サポーターズ倶楽部の登録団体が共催で事業を行う場合、利用料金について10%~100%割引を適用する「サポーターズ倶楽部共催割引」を実施する。

■営利を目的としない個人の練習向けに、利用2週間前を切った小ホールの夜間空きコマを格安で提供する「マイ練習プラン」を実施する。

■大・小ホールに生中継動画配信設備を設置し、利用者へ無料で提供する。

■保育園・幼稚園など未就学児童が主体となる団体の利用に対し、割引を適用する「未就学児童特別割引」を実施する。

■利用1か月前までの練習利用について割引を適用する「市民文化団体割引」を実施する。

■直近の空き日をデジタルサイネージとホームページに掲載。

□今年度の利用率目標を設定する。

※コロナ感染症拡大の影響を考慮

施設	利用率目標
大ホール	75%
小ホール	80%
リハーサル室（4部屋）	30%

■ステージコンシェルジュを引き続き実施する。

*生花・弁当・吊看板・写真撮影・ビデオ記録・調律・各種舞台機器レンタルを一括で取次ぎを実施する。

■舞台の専門知識を持ったスタッフによるサービス対応

*施設の利用の有無を問わず、公演実施に関する専門的アドバイスを実施する。

*使用時間外や休館日を利用した専門知識を持つスタッフによる施設見学を実施する。

<p>(3)利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p> <p>(4)専門技術を活かした、音声や映像の記録と録画配信</p>	<p>*利用初心者向けにタブレットを利用した利用ガイドの導入や、ホール資料・各種申請書等の（インターネット）ダウンロードを実施する。</p> <p>*荷物の事前搬入受付や、イベント終了後の発送取次ぎを実施する。</p> <p>■利用者のニーズに合わせた広報サポートを実施する</p> <p>*「月刊 催物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスを実施する。</p> <p>■関内ホールでの公演について、チケット委託販売を実施する。</p> <p>■権利処理可能な公演について収録を行い、関内ホールビデオフォーラムから動画配信を実施する。</p>
--	--

イ 集会や講演利用への施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①施設の特性を活かし、比較的大規模な集会や講演会のために施設を提供する。</p> <p>②利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p>	<p>■専門知識を持つスタッフによる公演実施に関するきめ細かなアドバイスをはじめ、公演に必要な物品の手配をワンストップで取り次ぐ「ステージコンシェルジュサービス」を実施し、集会・講演会利用をサポートする。</p> <p>■行政が主催する講演会や集会、社会性・公共性の高い集会などに引き続き優先枠を提供する。</p> <p>＜実施予定の講演会・集会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新職員採用式 ・市営住宅抽選会 ・廃棄物自主管理講習会 ・開港記念式典 ・食生活改善推進員協議会総会 ほか <p>■利用者のニーズに合わせた広報サポートを実施する。</p> <p>*「月刊 催物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスを実施する。</p>

ウ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①利用者満足度の向上につながる、さまざまなニーズ把握</p> <p>(1)利用者の率直な意見を聞くアンケートの実施</p>	<p>■来場者アンケート、事業アンケート、利用者アンケート、Webアンケートを継続的に実施することで、利用者のニーズとクレームを把握し日常的に運営の改善に努める。</p> <p>□馬車道商店街との意見交換：3か月に1度</p>

<p>(2) 関係団体へのヒアリング、意見交換会の実施</p> <p>②PDCA 発想に基づくニーズ・要望への対応</p> <p>③苦情発生に対する取組</p>	<p>■ 関内ホール市民モニターとの意見交換を随時行う。</p> <p>■ 事業主催者（利用者）へのヒアリングを随時行う。</p> <p>□ 各種アンケート回答をもとに業務の改善に努める。</p> <p>「責任者会議」：毎月 1 回</p> <p>「運営調整会議」：毎月 1 回</p> <p>■ 過去の苦情及びその対応を参考に「苦情対応マニュアル」を作成し全職員が共有する。</p> <p>■ 苦情対応フローに沿って、苦情に対する処理を行う。</p> <p>■ 日常の「ヒヤリ・ハット」事例を日報に記載するとともに「運営調整会議」を通じて全職員が共有する。</p> <p>■ 改善策や再発防止策を「苦情対応マニュアル」に反映し、対応内容について「苦情・要望処理報告書」を市に提出する。</p>
--	---

エ 運営組織の構築及び組織的な運営

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標																						
<p>①専門性が高く、かつ効率的な組織体制</p> <p>②円滑な管理運営のための各種会議の実施</p>	<p>□ 事務所に舞台及び舞台技術の相談員として舞台技術者を常時 1 名配置する。</p> <p>■ 定例会議の実施や情報の共有（PC サーバー）により各職員が担当職員のみならず相互に業務を補完することで、効率的な運営を実施する。</p> <p>□ 人員配置（計 14 名）</p> <table border="1" data-bbox="619 1469 1385 1816"> <thead> <tr> <th>館長</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>副館長／管理部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>副館長／事業部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>経理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業担当</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受付担当</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 各種会議</p> <table border="1" data-bbox="619 1912 1385 2107"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>実施頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝礼</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>責任者会議</td> <td>月 1 回</td> </tr> <tr> <td>運営調整会議</td> <td>月 1 回</td> </tr> </tbody> </table>	館長	1	副館長／管理部長	1	副館長／事業部長	1	管理担当	1	経理担当	1	事業担当	3	受付担当	5	会議名	実施頻度	朝礼	毎日	責任者会議	月 1 回	運営調整会議	月 1 回
館長	1																						
副館長／管理部長	1																						
副館長／事業部長	1																						
管理担当	1																						
経理担当	1																						
事業担当	3																						
受付担当	5																						
会議名	実施頻度																						
朝礼	毎日																						
責任者会議	月 1 回																						
運営調整会議	月 1 回																						

	運営委員会	年4回																
	関係機関連絡会	随時																
	利用調整会議	月1回																
	施設管理連絡会	年1回																
③必要人材の配置と職能 各企業のノウハウを活かした効果的な人材配置	<p>■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。</p>																	
④主要人材の能力担保 (1)効果的なOJTの実施 (2)サービスレベルの統一とホスピタリティあふれる運営につながる研修体制 (3)利用者の大舞台を支える高品質な接客マナー	<p>■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する。</p> <p>□各担当向け基本研修の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修テーマ</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接客マナー研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>人権研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>インスタントシニア研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>コンプライアンス研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>個人情報保護法研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>危機管理研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練</td> <td>年2回</td> </tr> </tbody> </table>		研修テーマ	開催回数	接客マナー研修	年1回	人権研修	年1回	インスタントシニア研修	年1回	コンプライアンス研修	年1回	個人情報保護法研修	年1回	危機管理研修	年1回	防災訓練	年2回
研修テーマ	開催回数																	
接客マナー研修	年1回																	
人権研修	年1回																	
インスタントシニア研修	年1回																	
コンプライアンス研修	年1回																	
個人情報保護法研修	年1回																	
危機管理研修	年1回																	
防災訓練	年2回																	

オ 本市の重要施策を踏まえた取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①個人情報保護についての取組	<p>■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。</p> <p>□個人情報保護研修：年1回</p> <p>■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備する。</p>
②情報公開についての取組	<p>■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「関内ホール情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等に対して適切に対応する。</p>
③人権尊重についての取組	<p>□人権研修：年1回</p>
④環境への配慮に関する取組	<p>■施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。</p> <p>■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、職員によるゴミ分別励行を行いゴミの資源化を促進する。</p> <p>■横浜市が推進する「みどりアップ計画」に則り、周辺地域の緑化に協力する。</p>

⑤市内中小企業優先発注についての取組	■「横浜市中小企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等にあたって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。
--------------------	--

カ その他施設運営に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①休館日の届け出について	■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。
②許認可及び届出について	■ホール内の飲食物販売など、許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う。
③目的外使用料の申請について	■自動販売機、携帯電話中継アンテナ、ドリンクコーナー等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。
④財務状況の確認	■財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務諸表などの財務状況について確認できる書類を提出する。

(3) 施設管理

ア 施設、設備の維持保全及び管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標		
①PDCA サイクルに基づく、計画的で高品質な施設管理業務の実施 ②仕様基準を上回る、高品質な施設管理のための創意工夫	■大規模改修工事で更新された施設や設備の特性や、公演実施時の注意事項などを熟知し、「施設管理業務の PDCA」に沿った的確な管理運営を実施する。		
	■繫閑差に応じた、的確な空調コントロールを行うなど、経験則に基づく専門性の高い施設管理を行う。 ■大規模改修工事で更新された設備の性能を的確に把握する。 □ホールの利用状況に応じた臨機応変な清掃対応を実施する。		
③備品等の適切な管理	■備品管理簿をデータ化し、備品管理を効率的に行えるよう取り		

項目	市の業務基準	公演実施時の清掃対応
トイレ清掃	1 回以上/日	公演前後、公演中・幕間 合計 4 回
カーペット(床 面洗浄)	5 回以上/年	公演後の点検により、随時 シミ取りを実施。

	<p>組む。</p> <p>■グランドピアノ4台について、定期メンテナンスを実施することで良好な状態を保つ。</p>
--	--

イ 小破修繕への取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①予防保全と施設の長寿命化を図るための中期修繕計画の策定	■大規模改修工事の内容を踏まえ、必要な修繕項目を精査して整理体系化を図り、「中期修繕計画」を策定する。
②保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応	<p>■設備機器類に関して、日々の設備機器運転・巡回点検で気付いた点を、諸設備の更新施工会社に相談して最良の維持管理方法を確立させる。</p> <p>□突発的な修繕へ迅速に対応：常時2名の設備員を配置</p>
③修繕費・小破修繕費の計上	<p>■大規模改修工事の内容を踏まえ、必要な修繕項目を精査し、必要な修繕費を計上する。</p> <p>□小破修繕費：380万円</p>

ウ 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①事故防止および犯罪防止のための方針と対策</p> <p>(1)巡回警備の徹底</p> <p>(2)不審者対策を兼ねた巡回時の工夫</p> <p>(3)異常を未然に防止する、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検</p> <p>(4)主催者に対する公演開催時の警備・誘導のきめ細かいサポート</p> <p>(5)犯罪を未然に防止する、パニックコールに応じた迅速な対応</p>	<p>□警備員による館内巡回警備の実施：1日4回（休館日除く）</p> <p>■不審者対策のため、来館者に対しての声掛けや、公演開催前後に入口付近の立哨を実施もしくは巡回を強化する。</p> <p>■異常の早期発見と未然防止のため、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検を実施する。</p> <p>■主催者向け、警備・誘導マニュアルの配布と警備用備品の貸出を実施する。</p> <p>■付属6店舗からのパニックコールに常駐警備員が迅速に対応できる体制を整える。</p> <p>■事故や犯罪に対する緊急対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施する。</p> <p>■舞台業務に関する作業方法や、公演中の停電及び舞台機構関連のトラブルへの対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図る。</p>
<p>②緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応の方針と対策</p> <p>緊急対応マニュアルの作成と平常時の訓練</p>	<p>■感染症防止のため、ホール出入口に手指消毒剤を設置する。</p> <p>■吐しゃ物に対する正しい処理方法を職員間で周知徹底するとともに処理剤やマスク、手袋などを常備する。</p>

<p>③新型インフルエンザ等の感染症対策</p>	<p>■市内で感染症が発生した場合は、休館について横浜市と協議し、休館の場合はその旨の広報に努めるとともに、問い合わせに対応する体制に切り替える。</p> <p>コロナ感染症への対応については、自治体からの指導を遵守し、ガイドラインに則り適正に管理運営を行う。</p>
---------------------------------	--

エ 防災に対する取組み

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
① 緊急時の連絡体制・役割分担	<p>■全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底するとともに、非常時に備え、緊急連絡先カードを携行する。</p> <p>■大規模災害時には帰宅困難者一時滞在施設として適切な機能が果たせるよう、共同事業体各社が応援要員を派遣するなどのバックアップを行う。</p>
② 平常時の防災対策	<p>□自衛消防隊を設置した消火訓練：年1回</p> <p>□防災訓練：年2回</p> <p>■主催者へ避難経路図を配布するとともに、災害の種類・程度に応じた避難場所についての打合せ（例えば津波の高さによる館内上階もしくは近隣ビル高層階への避難場所選択の必要性）を主催者と徹底する。</p>
③ 災害発生時の取組	<p>■地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし避難措置や必要な緊急対処を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。</p>
④ 障害者の安全管理対策	<p>■災害発生時に障がい者を避難させる場合は、誘導担当職員が付き添うとともに、最終的に避難の完了を現場責任者が確認する。</p>

オ その他施設管理に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
① 来場者に対し、近隣の駐車場を把握して案内するなど、円滑な運営に努める	<p>■付近の駐車場マップを作成し、来場者にご案内する。</p>
② 併設する青少年育成センターに係る業務	<p>■日常清掃、定期清掃、巡回警備、保守管理を実施する。</p> <p>□催事スケジュールについての情報交換：毎月1回</p> <p>□情報共有と運営改善のための6店舗連絡会：年2回</p>

③併設する6店舗に関する業務	<p>■定期的にエアコン及び消防設備の点検、店舗前の巡回警備、防犯対応、清掃を実施する。</p> <p>■横浜市と公有財産賃貸借契約を締結する。各店舗と賃貸借契約を締結する。</p> <p>■入居店舗が撤退した場合は市と協議の上、新入居者を選考する。</p>
④施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	<p>□電気主任技術者（3種）：1名</p> <p>□建築物環境衛生管理技術者：1名</p> <p>□特定産業廃棄物管理責任者：1名</p> <p>□甲種防火管理者：1名</p>
⑤「ESCO」事業終了に伴う業務	<p>■横浜市による「ESCO」事業は平成30年度末に終了となったが、当事業実施時の省エネルギー効果を維持するように心掛ける。</p>

(4) 収支

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①割引優遇制度など独自の利用料金制度の実施	<p>■直前利用割引やリハーサル室スタンプサービスなどの各種利用料割引を継続し、利用者数の向上に努める。</p> <p>※各種割引制度の詳細は2施設運営（1）に記載</p>
②自主事業の充実による事業収入の増加	<p>□主催公演事業の実施による事業収入：2,200万円</p>
③質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の活用	<p>■主催事業について公的助成金や企業協賛を得られるよう積極的に取り組む。</p>

イ 経費削減等効率的運営の努力

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①職員のマルチジョブ化によるサービス向上とコスト削減の実現	<p>■定例会議の実施や情報の共有（PCサーバー）により各職員が担当職員のみならず相互に業務を補完することで、効率的な運営を実施する。</p>
②運営ノウハウ等経営資源の活用による経費削減策	<p>■2期の運営経験から得たノウハウを活用することで、さまざまな経費を削減し、サービスの向上とコスト削減に努める。</p>

② ヨコハマ3R夢プランに基づく日常的な3R活動と省エネルギーの推進	■施設内で3R（リユース・リデュース・リサイクル）を推進し、廃棄物の減量および適正処理を行うとともに、必要の無い照明を消灯するなど、全職員が省エネルギー化に努める。
④業務の標準化・見える化による生産性の向上	■業務手順についてワークフローやマニュアルを作成するなど、業務の標準化を進め生産性の向上に努める。
⑤グループウェアを活用した情報共有による業務効率化	■情報共有手段としてグループウェア・共有サーバーを活用し、作業の効率化を図る。
⑥予防保全によるムリのない中長期的な維持管理経費の削減	■チェックリストを用いた巡回点検に重点を置き、些細な不具合の早期発見および小破修繕により、中長期的な経費削減を図る。

(5) PDCAサイクルの確実な運用

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①日報及び月間業務告書の作成・管理	<ul style="list-style-type: none"> ■各種日報を作成する。 ■月報を作成しモニタリング時に提出する。 ■各日報、月報を適切に管理保管する。
②事業計画書及び事業報告書の作成・管理	<ul style="list-style-type: none"> ■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成して横浜市に提出する。 ■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成して横浜市に提出する。
③業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）	<ul style="list-style-type: none"> ■モニタリング会議を毎月実施し、横浜市へ運営状況の報告を行う。 ■自己評価を実施する。

(6) 留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①保険及び損害賠償の取扱	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。
②関係法令等の順守	■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守する。
③市及び関係機関との連絡調整	■馬車道商店街、住吉町内会の連絡会等に出席する。

【別紙】◆実施事業一覧

4 (1) ア 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

<鑑賞事業：幅広い層へ向けた良質なコンサート系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4月	協力	女性ピアニストコンサート	小ホール	120名
2	5月	協力	女性バイオリニストコンサート	大ホール	500名
3	5月	協力	女性ポピュラーコンサート①	大ホール	500名
4	5月	協力	女性ポピュラーコンサート②	大ホール	500名
5	5月	協力	男性ポピュラーグループコンサート	大ホール	500名
6	6月	協力	女性ポピュラーコンサート④	大ホール	500名
7	6月	協力	男性ポピュラーコンサート①	大ホール	500名
8	7月	協力	女性演歌コンサート	大ホール	500名
9	7月	協力	女性ポピュラーコンサート⑤	大ホール	500名
10	7月	共催	男性ピアニストコンサート	大ホール	500名
11	8月	協力	女性ポピュラーコンサート⑥	大ホール	500名
12	9月	協力	男性コーラスグループコンサート①	小ホール	120名
13	10月	協力	ジャズフェスティバル	大ホール	2,000名
14	11月	協力	ジャズコンサート①	小ホール	120名
15	12月	協力	女性ポピュラーコンサート⑦	大ホール	500名
16	12月	共催	男性サクソ奏者コンサート	大ホール	500名
17	12月	協力	男性ポピュラーコンサート②	大ホール	500名
18	12月	協力	女性ギタリストコンサート	大ホール	500名
19	2月	協力	ジャズコンサート②	大ホール	500名
20	2月	協力	女性ハーモニカ奏者コンサート	大ホール	500名
21	2月	共催	ブラスコンサート	大ホール	500名
22	2月	協力	男性ポピュラーコンサート③	大ホール	500名
23	3月	協力	男性コーラスグループコンサート②	大ホール	500名

<鑑賞事業：ダンス公演系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	7月	協力	バレエ公演	大ホール	500名
2	10月	主催	コンテンポラリーダンス公演	大ホール	800名

<鑑賞事業：演劇/ミュージカル/バラエティ系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4月	協力	演劇公演	大ホール	1,000名

2	4月	協力	男性歌手トークショー	大ホール	500名
3	8月	共催	パペットショー	大ホール	500名
4	8月	共催	キャラクターショー英語劇	大ホール	1,000名
5	8月	協力	朗読劇	大ホール	700名
6	9月	協力	怪談トークショー	大ホール	1,000名
7	10月	協力	演劇公演	大ホール	1,000名
8	8月	共催	キャラクターショー英語劇	大ホール	1,000名
9	12月	協力	市内劇団公演	小ホール	500名
10	2月	協力	演劇公演	大ホール	1,000名
11	3月	協力	朗読劇	大ホール	700名

<鑑賞事業：落語・漫談等・伝統芸能系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4月	主催	関内寄席 落語家二人会	大ホール	500名
2	7月	協力	落語家独演会	大ホール	500名
3	7月	主催	関内寄席 落語家三人会	大ホール	800名
4	11月	主催	関内寄席 落語家二人会	大ホール	1,000名
5	11月	協力	濱っこ寄席	大ホール	500人
6	2月	主催	関内寄席 落語家二人会	大ホール	1,000名
7	3月	主催	関内寄席 落語家二人会	大ホール	1,000名

<公的文化芸術事業への協力>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	11月	協力	横濱ジャズプロムナード	大・小ホール	市内の複数会場で開催するジャズフェスティバル	2,000名
2	11月	協力	子供向けバレエ鑑賞会	大ホール	横浜市主催の市内小学生向けバレエ鑑賞会	6,000名
3	1月	協力	子供向けバレエ鑑賞会	大ホール	横浜市主催の市内小学生向けバレエ鑑賞会 土日開催については一般に公開する	7,000名

<地域連携事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	5月	主催	あいすくりーむ発祥記念 コンサート～サクソカル テット～	大ホール	馬車道で実施される「あいすくりーむ発祥記念イベント」の一環で無料コンサートを実施	500名
2	5月	主催	あいすくりーむ発祥記念 イベント～落語会～	小ホール	馬車道で実施される「あいすくりーむ発祥記念イベント」の一環でチャリティ落語会を開催	250名
3	11月	主催	馬車道アートフェスタ 2020 “プラスコンサート”	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2020”の一環として、東京藝大ウィンドオーケストラのコンサートを実施	500名
4	11月	主催	馬車道アートフェスタ 2020 “バイオリンコンサート”	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2020”の一環として、バイオリンコンサートを実施	500名
5	11月	主催	馬車道アートフェスタ 2020 “ジャズコンサート”	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2020”の一環として、ジャズコンサートを実施	120名
6	11月	主催	馬車道アートフェスタ 2020 “チャリティ落語会”	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2020”の一環として、チャリティ落語会を実施	100名
7	11月	主催	馬車道アートフェスタ 2020 “1日オープンデー”	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2020”の一環として、1日オープンデーを実施	600名

4（1）イ 次世代育成の取組

<次世代育成事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	4月	協力	こども寄席	小ホール	落語の歴史や、面白さを学ぶ子どもを対象とした落語会、小道具や鳴り物などの体験も実施	500名

<新進アーティスト支援事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	通年	主催	馬車道ショートパフォーマ ンスライブ	玄関前広場	公募によるストリート ライブを玄関前で実 施。年間5回開催予定	700名
2	7月	協力	若手演奏家 アコースティックギターコ ンサート	小ホール	関内ホールで主催した 公募型新人発掘コンサ ートの入賞者による自 主リサイタル	180名
3	10月	共催	ちぐさ賞選定ライブ	小ホール	横浜の老舗ジャズ喫茶 ちぐさが主催する優れ たジャズミュージシャ ンを表彰するライブ	120名
4	10月	主催	コンテンポラリー ダンス公演	大ホール	横浜アクション事業 DANCE DANCE DANCEの パートナー事業として コンテンポラリーダン ス公演を実施	800名

<学校プログラム>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	未定	学校プログラム業務委託	横浜市芸術文化教育プラットフォーム/学校プログラム	市内小学校	未定	参加者 小学生
2	未定	学校プログラム業務委託	横浜市芸術文化教育プラットフォーム/学校プログラム	市内小学校	未定	参加者 小学生

4 (2) ウ 創作活動の機会の提供

<市民が気軽に参加できるコンサート事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	8月	主催	馬車道陽だまりコンサート	大ホール	来場者がクラシックコンサートと合唱を一度に楽しめる客席参加型合唱コンサート。毎回、障がい者招待枠を設ける	500名
2	11月	主催	馬車道陽だまりコンサート	大ホール	来場者がクラシックコンサートと合唱を一度に楽しめる客席参加型合唱コンサート。毎回、障がい者招待枠を設ける	500名
3	2月	主催	馬車道陽だまりコンサート	大ホール	来場者がクラシックコンサートと合唱を一度に楽しめる客席参加型合唱コンサート。毎回、障がい者招待枠を設ける	500名

令和3年度 関内ホール 管理業務実施一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		休館日	12	10・24	14	12・26	16・17・30	6・13	12	8	13・29・31	1・3・11	7・8・21	14・28	
		一部閉鎖		11・25		13・27	18・31	7・14・27	13	9	14	12	9・22	15	
件名	回数/()内は通常年の回数	実施日及び実施予定月												年累計	
舞台設備	ヤマハピアノ点検(大ホール)	1回(年1回)				○									1
	〃 (小ホール)	1回(年1回)			○										1
	〃 (リハ④)	1回(年5回)		○				○(2回)			○			○	5
	スタンウェイピアノ点検	1回(年1回)		○											1
	舞台機構設備点検(大ホール)	4回(年4回)	○			○			○			○			4
	〃 (小ホール)	4回(年4回)	○			○			○			○			4
	舞台照明設備点検(大ホール)	4回(年4回)		○			○			○			○		4
	〃 (小ホール)	4回(年4回)		○			○			○			○		4
	舞台音響設備点検(大ホール)	2回(年2回)						○						○	2
	〃 (小ホール)	2回(年2回)						○						○	2
映写機保守点検	撤去済													0	
設備保守	エレベータ保守点検	12回(年12回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	駐車場装置保守点検	1回(年1回)			○										1
	シャッター保守点検	1回(年1回)											○		1
	自動ドア保守点検	4回(年4回)			○			○			○			○	4
	電気時計保守点検	1回(年1回)											○		1
	電気給湯器保守点検	1回(年1回)		○											1
	カルミックユニット保守点検	6回(年6回)		○		○		○		○		○		○	6
	パコテンヒーター点検	1回(年1回)						○							1
	建築設備定期点検	1回(年1回)				○									1
	建築物診断	1回(年1回)				○									1
空調設備	中央監視装置点検	2回(年2回)				○							○		2
	冷却塔点検・清掃	12回(毎月/可動月)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	レジオネラ菌測定	2回(年2回)			○		○								2
	ファンコイルユニット点検	6回(年6回)	○		○		○		○		○		○		6
清掃	館内清掃 日常	毎日/開館日(毎日/開館日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	館内清掃 定期	同箇所5回(同箇所年5回)	○			○			○			○		○	5
	照明器具・ガラリ清掃	1回(同箇所年1回)											○		1
	ガラス清掃	6回(年6回)		○		○		○		○		○		○	6
	貯水槽・貯湯槽清掃	1回(年1回)		○											1
	汚水槽等清掃	2回(年2回)					○						○		2
電気	電気設備年次点検	1回(年1回)						○							1
	自家発電設備点検	2回(年2回)						○						○	2
	消防設備点検	2回(年2回)						○						○	2
その他	館内害虫防除点検	2回(年2回)					○						○		2
	室内空気環境測定	6回(年6回)		○		○		○		○		○		○	6
	給水飲料水水質検査	2回(年2回)					○						○		2

令和3年度 「横浜市市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	136,587,000		136,587,000		136,587,000	横浜市より
利用料金収入	67,640,000		67,640,000		67,640,000	
自主事業収入	22,300,000		22,300,000		22,300,000	
雑入	25,222,000	0	25,222,000	0	25,222,000	
自動販売機手数料	1,280,000		1,280,000		1,280,000	
育成センター施設負担金	10,434,000		10,434,000		10,434,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	10,468,000		10,468,000		10,468,000	提案時に未計上であった付属店舗賃付料を計上したので提案時よ
その他(チケット販売手数料等)	3,040,000		3,040,000		3,040,000	チケット販売手数料、物販手数料
収入合計	251,749,000	0	251,749,000	0	251,749,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	50,370,200	0	50,370,200	0	50,370,200	
給与・賃金	46,922,800		46,922,800		46,922,800	
社会保険料	1,782,000		1,782,000		1,782,000	出向者分は共同事業体各社にて負担
通勤手当	1,665,400		1,665,400		1,665,400	
健康診断費	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,013,300	0	17,013,300	0	17,013,300	
旅費	26,400		26,400		26,400	
消耗品費	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
会議ठी費	26,400		26,400		26,400	
印刷製本費(広報費含む)	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
通信費	1,003,200		1,003,200		1,003,200	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	9,011,000	0	9,011,000	0	9,011,000	
横浜市への支払分	9,011,000		9,011,000		9,011,000	公有財産賃付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0		0	
備品購入費	378,400		378,400		378,400	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000		113,000	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	360,000		360,000		360,000	
リース料	1,762,990		1,762,990		1,762,990	簡易印刷機、紙折り機、パソコン、AED 他
手数料	63,000		63,000		63,000	チケット代引き手数料他
地域協力費	803,910		803,910		803,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	20,178,000	0	20,178,000	0	20,178,000	
自主事業費	20,178,000		20,178,000		20,178,000	
管理費	159,075,500	0	159,075,500	0	159,075,500	
光熱水費	27,045,000	0	27,045,000		27,045,000	
電気料金	21,316,000		21,316,000		21,316,000	
ガス料金	2,752,000		2,752,000		2,752,000	
水道料金	2,977,000		2,977,000		2,977,000	
清掃費	25,314,000		25,314,000		25,314,000	
修繕費	3,854,300		3,854,300		3,854,300	
舞台管理技術委託費	44,454,000		44,454,000		44,454,000	
機械警備費	1,181,400		1,181,400		1,181,400	
設備管理費	57,226,800	0	57,226,800		57,226,800	
空調衛生設備保守	15,620,400		15,620,400		15,620,400	
消防設備保守	5,398,800		5,398,800		5,398,800	
電気設備保守	13,694,400		13,694,400		13,694,400	
害虫駆除清掃保守	920,400		920,400		920,400	
駐車場設備保全費	187,200		187,200		187,200	
その他保全費	21,405,600		21,405,600		21,405,600	
共益費	0		0		0	
公租公課	3,902,000	0	3,902,000	0	3,902,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	3,712,000		3,712,000		3,712,000	
印紙税	47,000		47,000		47,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000		143,000	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,210,000	0	1,210,000	0	1,210,000	
本部分	715,000		715,000		715,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	495,000		495,000		495,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	251,749,000	0	251,749,000	0	251,749,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	

管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	